

【調査速報】戦国時代山寺の道路遺構を発見！－近江八幡市阿弥陀寺遺跡－

【市町連携事業紹介】『未来へつなぐ、文化財×大学生』支援事業 はじめました！

【市町支援事業紹介】「守山市 横江遺跡」

【お知らせ】催物案内 －2024年10月～12月－

「あの遺跡は今！ Part31」ほか



● 阿弥陀寺遺跡

【調査速報】

## 戦国時代山寺の道路遺構を発見！

おうみはちまんしあみだじ

－ 近江八幡市阿弥陀寺遺跡 －



阿弥陀寺遺跡の道路遺構（南東から）

（写真提供：滋賀県）

阿弥陀寺遺跡は、近江八幡市北津田町・島町に所在しており、当協会では、砂防工事に伴う発掘調査を令和4年度から実施しています。

阿弥陀寺は、平安時代前期(約1,150年前)に大嶋・奥津嶋神社の神宮寺として創建され、織田信長による焼き討ちをうけて衰退したと伝えられています。現在は本堂とそこへいたる石段・山門が残っていますが、かつての姿はわかっていませんでした。

調査地は、文書記録に残る「北谷」・「東谷」・「西谷」のうちの「北谷」の麓側にあたり、戦国時代に構築された道路遺構や平坦面、石垣を発見しました。道路遺構は麓から山頂に向かって直線状に延び、左右にひな壇状に平坦面が展開していたことが確認されました。また、道路遺構の両側に溝を持つなどの具体的な構造もわかってきました。

このような阿弥陀寺の調査成果は、中世山寺を理解するための貴重なものと言えます。



# 近江八幡市 阿弥陀寺遺跡 — 戦国時代山寺の道路遺構を発見！ —

道路遺構は幅約4m、長さ約26mにわたって検出されました。両脇には側溝があり、路面の一部には石段が設けられていました。

## ◆南側溝



道路は麓から山頂に向かってほぼ直線状に伸びており、南側溝は山頂側から約5mまでは開口しています。南西側平坦面に接する部分では、一部を暗渠あんきよとしていました。

## ◆南側溝 麓側平坦面保護構造



麓側に近い部分では、側溝に石を入れてその上に長軸1mほどの大きな石を立て、さらにその上に白っぽい粘土を貼って補強しています。この構造は南西側平坦面の盛り土が流出しないよう保護するためと考えられます。



## ◆石段



道路遺構の一部では、4段分の石段がみつけられました。赤褐色の土を貼って段差を設け、石を設置した構造です。

設置した場所が北東側平坦面への入り口部分であることから、進入路として設置されたと考えられます。

## ◆石列



道路北東側の平坦面との境付近で、長さ約8.4m・幅約0.8m・高さ約0.5mにわたって確認されました。0.2～0.8mの石を北東側平坦面に向けて面を揃え、一列に並べています。道路遺構と平坦面を区切る塀へいの基礎部分となる可能性があります。



## ◆北側溝



北東側平坦面への入り口部分では、石材を詰めて暗渠としていました。



詳細資料



しがぶんちゃん



【市町連携事業紹介】

# 『未来へつなぐ、文化財 × 大学生』支援事業 はじめました！

『未来へつなぐ、文化財 × 大学生』(令和6年度守山びと育成プロジェクト)は、守山市が進めている人材育成プロジェクトです。令和3年度に『文化財保存活用地域計画』を策定した守山市は、地域総がかりで市内の文化財を次世代へ継承し、地域づくり、まちづくりに活かそうとしています。課題の1つに「担い手不足」があり、このプロジェクトが企画されました。当協会は、そのパートナーとして共に汗を流しています。

プロジェクトの主役は16名の大学生です。大学生に与えられたミッションは、文化財行政の現場を体験しつつ、「同世代が本当に来たい!」と思えるような市内文化財を含めた周遊ルートを設定し、デジタルスタンプラリーとして発信していくこと。

市のご担当者と私たちは、その環境づくりをしながら、未来の担い手になっていく大学生の成長を応援しています。



しがぶんちゃん 当協会HP



▶完成したスタンプラリーは秋以降に利用開始予定。当協会のホームページなどでもお知らせしますので、お楽しみに!

【市町支援事業紹介】

もりやましよこえ

## 守山市 横江遺跡 (発掘調査 33,110 m<sup>2</sup>) \* 調査面積は 2024 年 8 月末現在

横江遺跡は、縄文時代から室町時代にかけての集落跡として知られています。これまでの発掘調査では、特に鎌倉時代から室町時代にかけての集落のうつりかわりがわかる良好な成果が得られており、近江における中世集落を考えるうえでの重要な遺跡となっています。

当協会では、2023年4月から工業団地開発に伴う発掘調査を行っており、古墳時代の河川や溝、平安時代後期から鎌倉時代にかけての掘立柱建物群などがみつかっています。

古墳時代(約1,700～1,500年前)の河川は幅約5mで、幅0.5～1.0mの多数の溝が重複して接続または分岐しており、長期間にわたって水路として利用されていたと考えられます。

平安時代後期から鎌倉時代にかけて(約1,000～800年前)の掘立柱建物は、30棟以上がみつかりました。数棟単位で構成される建物群が少し離れて点在している様子や、敷地を区画する溝を伴う建物群が確認されています。

今後の調査成果によって、さらに集落の具体的な様子が明らかになっていくことと思われます。



平安時代後期の大型建物

(写真提供: 守山市)



◆催物案内1 \*問合せ:0748-46-4861(当協会 企画整理課安土分室)

「あの遺跡は今!Part31 整理室へようこそ!!一見て・触れて・感じる考古学」

~整理室公開事業・埋蔵文化財整理調査報告会~



当協会

恒例の2日間限定イベント「あの遺跡は今!」では、当協会が現在県立安土城考古博物館内整理室で整理調査をしている佐和山城跡(彦根市)や出庭遺跡・高野遺跡(栗東市)などの出土品を、現地調査の写真パネルと調査員や考古学専攻生の詳しい解説付きでご覧いただけます。出土品の接合や実測・注記など実際の調査作業も公開しますので、調査スタッフの熟練のワザをぜひ目の前でご覧ください。

【開催日】2024年10月13日(日)・10月14日(月・祝)

【開催時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)

【申込】不要 \*体験も不要、随時。

【参加費】無料 \*キーホルダー色塗り体験のみ参加費300円が必要

【会場】滋賀県立安土城考古博物館内 整理室

(近江八幡市安土町下豊浦6678)



展示解説の様子



キーホルダーと色塗り体験の様子



どきっち

しがぶんちゃん

▶【体験】古代瓦の模様をあしらったキーホルダーの色塗り体験や、注記・拓本・実測といった整理調査の体験メニューも用意しています。

たくさんの体験を通じて、過去の時代を感じてみてください!

★同日、博物館主催の勾玉作り体験も同じ整理室内で開催(下の表を参照)。

◆催物案内2 \*問合せ:0748-46-2424(滋賀県立安土城考古博物館) \*入館は16:30まで。

安土城考古博物館



まめのぶくん

日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
9/26(木)~10/31(木)	9:00~17:00	展示	特別陳列Ⅰ 近江の遺跡発掘調査①「古代国家と鉄-近江国府跡青江遺跡の鍛冶工房-」	無	不要	入館料	当館 望楼下
10/5(土)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅰ「古代国家と近江の鉄」 「前方後円墳体制と栗太の鉄」 講師:近藤広氏(公益財団法人栗東市スポーツ協会)	120名	不要	300円	当館 セミナールーム
10/6(日)	13:00~16:00	探訪	城郭探訪 「安土城跡」	20名	要	1500円	安土城跡
10/12(土)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅰ「古代国家と近江の鉄」 「継体大王・藤原氏と高島の鉄」 講師:宮崎雅充氏(高島市観光振興課)	120名	不要	300円	当館 セミナールーム
10/13(日)	10:00~12:00	体験	令和6年度 家族で楽しむ! 秋の体験博物館『古代の勾玉を作ろう!』	各15名	不要	500円	当館 整理室
10/14(月)	13:30~15:30 (各日)						
10/19(土)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅰ「古代国家と近江の鉄」 「藤原仲麻呂政権と近江の鉄」 講師:山崎輔氏(大津市文化財保護課)	120名	不要	300円	当館 セミナールーム
10/20(土)	10:00~16:00	探訪	城郭探訪 「観音寺城跡と桑賣寺」	10名	要	1500円	観音寺城跡・桑賣寺
11/1(金)~12/3(火)	9:00~17:00	展示	特別陳列Ⅱ 近江の遺跡発掘調査②「古代のお金-無文銀銭から乾元大寶まで-」	無	不要	入館料	当館 望楼下
11/2(土)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅱ「お金で綴る近江の歴史」 「無文銀銭とは何か-貨幣の誕生-」 講師:内田保之(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)	120名	不要	300円	当館 セミナールーム
11/10(日)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅱ「お金で綴る近江の歴史」 「近江の古代銭」 講師:辻川哲朗(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)	120名	不要	300円	当館 セミナールーム
12/4(水)~2/4(火)	9:00~17:00	展示	特別陳列Ⅲ 近江の遺跡発掘調査③「中世のお金-虫生館遺跡出土事例から-」	無	不要	入館料	当館 望楼下
11/24(日)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅱ「お金で綴る近江の歴史」 「滋賀県の銭と祭祀」 講師:森田真由香(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)	120名	不要	300円	当館 セミナールーム
12/8(日)	13:30~15:00	講座	連続講座Ⅱ「お金で綴る近江の歴史」 「近江の渡来銭」 講師:小島孝修(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)	120名	不要	300円	当館 セミナールーム

◆催物案内3 \*問合せ:077-522-8179(滋賀県立琵琶湖文化館)

琵琶湖文化館



あきつ君

日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
開催中~11/24(日)	10:00~17:00	展示	地域連携企画展「滋賀限定!近江ゆかりの書画-古写経から近代書まで-」	無	不要	入館料	観峰館(東近江市)
10/23(水)	14:00~15:30	講座	花湖さんの打出のコツチ⑥「中世絵画の山水表現」講師:萬年香奈子(県立琵琶湖文化館)	200名	要	無料	コラボしが21(大津市) *サテライト会場有
11/13(水)	14:00~15:30	講座	花湖さんの打出のコツチ⑦解説付鑑賞会「地域連携企画展「滋賀限定!近江ゆかりの書画」を楽しむ」講師:寺前公基(観峰館)・井上優(滋賀県文化スポーツ部文化財保護課兼琵琶湖文化館)	40名	要	無料 [要入館料]	観峰館(東近江市)